

麻酔・救急

Anesthesiology, Emergency & Critical Care Medicine

ユニット責任者：救急医学 教授 藤谷 茂樹

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	麻酔・救急①	11月12日～11月15日	森澤 健一郎

1. ユニット概要・学習内容

麻酔：麻酔の概念、種類を理解し、手術麻酔の一連の経過と基本的なモニターを理解する。外科侵襲と麻酔薬の影響が加わった際の生体反応について理解することを通して、周術期における患者の病態を理解する。

救急・集中治療：生命危機の状態、特に心肺停止に対する世界標準の蘇生法（BLS、ALS）は専門領域に関わらず、医師が習得しなければならない内容であり、実践と他者への教育が可能となることを目標とする。意識障害を評価し原因病態を想起、判断することは、生命を救うためには必須である。一方、救急領域では終末期への対応も同時に求められるため、日本人の死生観の変遷とともに変化している臓器移植の歴史と現状を学ぶ。有数の地震大国である本邦の災害医療、熱傷への対応について、政治的政策と現場での活動を併せて学ぶ。救急医療は社会全体の動向を見据え、常に変革が求められるため、病院の外で行われる医療について、メディカルコントロールを学ぶ。

2. 到達目標

- 1) 麻酔の概念を説明でき、各種麻酔時の手順、使用薬剤やモニターを説明できる。
- 2) 心肺停止における蘇生法（BLSとALS）を説明し実践できる。
- 3) 熱傷の病態と分類、治療について説明できる。
- 4) 病院前救護を統括するメディカルコントロールについて説明できる。
- 5) 血管内治療と超音波診断技術について説明できる。
- 6) 災害医療の特徴とトリアージ法、特殊病態である挫滅症候群について説明できる。
- 7) 意識障害を評価し、原因病態を鑑別できる。
- 8) 臓器移植、脳死の定義と判定基準について説明できる。

3. 学習上の注意点

麻酔学においては、侵襲下における生体管理と麻酔の分類、使用される麻酔関連薬物を理解し、適切な麻酔方法の選択と、周術期の患者モニタリングについて学びます。麻酔科医の一連の仕事を総論的に理解してください。

救急・集中治療学においては、生命を救うための手技・手順、思考方法を学びつつ、終末期においては、一転して生命の維持のみならず、死に至る過程に寄り添わなければならない現実を理解してください。病院前、災害時といった特殊な環境における医療は、需要と供給のバランスが異なり、平時と同様の診察・治療はできません。いかなる環境であっても、医師として活動できるように理解を深めてください。

4. 教科書

救急診療指針（へるす出版） — 救急医療の総論を学ぶ。

集中治療医学（秀潤社） — 重症病態を総論的に学ぶ。

標準麻酔学（医学書院） — 麻酔総論、概念を学ぶ。

周術期管理チームテキスト（日本麻酔科学会） — 麻酔の臨床を平易に学ぶ。

Basics of Anesthesia 7th ed. (Elsevier) — 医学生に最適な洋書。Kindle 版あり。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	100 (%)	

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
救急医学	教授	藤谷 茂樹	水曜 12:00~12:30	救急医学 医局(東館 3F)	内線 3931
麻酔学	教授	井上 莊一郎	水曜 11:30~12:00	麻酔学教室(医学部本館4F)	内線 3453
救急医学	講師	森澤 健一郎	事前にアポイントを取ること		kmori

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略